

2025年度マテリアリティ（重要課題）の達成状況

資源の有効活用

産業副産物の有効物利用

各工場・各事業所から排出される産業副産物の有効物利用促進(資源の循環利用)

◆主な取り組み

- ・ライムケーキ(炭酸カルシウムを主成分とする製糖副産物)を土壌改良剤として農地に還元
- ・石炭灰をセメント原料等として有効利用

◆2030年度目標	◆2025年度目標	◆2025年度実績	◆達成状況
産業廃棄物の有効利用率 95%以上	95%以上	97%	○

※達成状況 ◎＝目標数値を大きく超えた ○＝目標数値を超えた △＝目標数値に僅かながら到達せず ×＝目標数値にほど遠い

水資源使用量削減

各工場・各事業所における水資源使用量を削減

◆主な取り組み

- ・冷却塔導入による工業用水の有効利用
- ・原料てん菜貯蔵パイル(貯蔵堆積場)での散水の削減

◆2030年度目標	◆2025年度目標	◆2025年度実績	◆達成状況
製糖工場での取水量削減率 10% (2013年度比)	10%	16%	○
原料貯蔵場での散水量削減率 100% (2020年度比)	50%	70%	○

※達成状況 ◎＝目標数値を大きく超えた ○＝目標数値を超えた △＝目標数値に僅かながら到達せず ×＝目標数値にほど遠い

省エネ・省人省力・省資源

原料輸送から販売において、効率化を目指し、省エネ・省人省力・省資源を図る

◆主な取り組み

- ・原料輸送車の1台当たりの輸送量増加
- ・原料の直接搬入割合増加による構内搬送の削減

◆2030年度目標	◆2025年度目標	◆2025年度実績	◆達成状況
大型車両割合 45%	50%	40%	△
原料の直接搬入割合 80%	78%	75%	△

※達成状況 ◎＝目標数値を大きく超えた ○＝目標数値を超えた △＝目標数値に僅かながら到達せず ×＝目標数値にほど遠い

脱・省プラスチック

当社製品に使用されるプラスチック・ビニールなどの包装容器類について、削減並びに代替資材類の使用を目指す

◆主な取り組み

- ・砂糖製品へのバイオポリエチレンの採用
- ・リニューアル品への環境対応素材の採用

◆2030年度目標	◆2025年度目標	◆2025年度実績	◆達成状況
業務用砂糖製品の包装容器に 環境素材を導入	バイオマス10%包装品の採用を拡大	包材の供給事情悪化により 拡大には至らなかった	×

※達成状況 ◎＝目標数値を大きく超えた ○＝目標数値を超えた △＝目標数値に僅かながら到達せず ×＝目標数値にほど遠い